



特集

「農家組合員の所得増大」に向けた「純情産地確立『栄』プラン」最終年度の取り組みについて



副本部長
藤村 明智



季節のエッセー いわての野草

文・澤口 たまみ
絵・永澤 美貴子

「エゾノヨロイグサ」

(セリ科)

灼熱の太陽に照らされて、野原にはムツとするような草いきれがたち込めていた。そのあちらこちらに、三メートルもあろうかという巨大な生き物が、身じろぎもせずになたずんでいた。私はふと、子ども時代に夢中になって読んでいたSF小説の世界に、迷い込んでしまった。宵闇が訪れるとともに、この生き物たちはモソモソと動き出し、あたりを徘徊するのではなからうか……。そんな幻想が頭をよぎった。この生き物の正体は、エゾノヨロイグサ。遠野ではこれを「ボンボガラ」と呼び、太くて軽いその茎を使って、尺八に似た笛を作るといふ。エゾノヨロイグサの茎で作った笛は、夏の草原に流れる不思議なメロディーを、私たちの耳に届けてくれるかも知れない。

参考資料：澤口たまみ著「岩手の野草百科」(岩手日報社 平成18年4月20日 第7版発行)より

純情産地発 KLARA vol.829 08 2018

タイトルのKlara (クララ) は、宮沢賢治の手帳に記されている言葉で、スペイン語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

純情産地いわて
30th
みんなていわての未来を育もう。

contents

季節のエッセー いわての野草	02	みるinfo	07
特集 「農家組合員の所得増大」に向けた「純情産地確立『栄』プラン」最終年度の取り組みについて	03	みんなの分教場	08
純情産地いわて30周年記念企画	06	純情むすめ活動記	09
消費地だより	07	純情人	09
		ニュースワイドアングル	10

2.平成30年度 純情産地確立『栄』プラン 実施一覧

実施部門	課名	行動計画	組合員メリット	30年度数値目標	(参考)29年度実績
米穀部	米穀販売課	確実な販売実践に向けたマーケティング	・実需者との事前契約数量の拡大により安定生産・販売を実現し、組合員の安定収益確保 ・新品種をメインとした買取販売の拡大による早期清算	事前契約93,000㍏(30年産) 買取数量16,000㍏(30年産) 契約栽培30,000㍏(31年産)	92,400㍏(29年産) 49,000㍏(29年産) 12,300㍏(29年産) 30,000㍏(30年産予定)
		流通コスト低減(共計経費)	・共同計算販売等の費用圧縮による生産者手取りの最大化	流通コスト1,150円/60kg(29年産) 流通コスト1,120円/60kg(30年産)	1,175円/60kg(28年産)
園芸部	生産販売課	園芸品目買取販売の拡大(野菜・果実)	・シーズン価格や下限価格設定での買取による生産者所得の安定 ・新規園芸品目栽培者の栽培開始にかかるハードルの低減	野菜 500百万円 果実 332百万円	野菜 443百万円 果実 304百万円
	花き資材課	園芸品目買取販売の拡大(花・乾椎茸)	・花き 生産者の安定収益確保 ・乾椎茸 生産者の所得向上	花き 35百万円 乾椎茸 45百万円	花き 26百万円 乾椎茸 48百万円
	生産販売課	加工・業務用野菜の拡大	・稲作等にかわる水田転換品目の導入による収益拡大 ・機械化体系による省力化 ・加工業務向け栽培体系による面積拡大での収益確保	数量 7,100トン 金額 700百万円	数量 6,200㍏ 金額 670百万円
畜産酪農部	畜産統括課	肉豚産地提携事業の拡充・農家手取りの向上	・販売プレミアムを生産者への還元	142,000頭(販売プレミアム59,000千円)	134,051頭(プレミアム58,198千円)
	畜産販売課	牛肉輸出事業の推進(いわて牛)	・輸出事業を通じて牛枝肉の有利販売につなげることにより所得向上に寄与する。	45㍏	39㍏
	家畜市場課	和牛繁殖基盤の維持・拡大 農家所得向上対策	・規模拡大希望農家への増頭支援と、巡回による管理指導 ・和牛子牛の早期出荷による農家所得向上	緊急増頭対策事業:220頭 市場上場日齢:去勢285日	緊急増頭対策:207頭 市場上場日齢:去勢289日
	畜産統括課	借り腹事業産子の斡旋	・酪農家へのメリット①約250,000円/頭の副収入 ②分娩による、乳量確保。 ・和牛肥育農家へのメリット200,000円/頭の素畜費の圧縮	300頭	195頭
資材部	営農技術課	生産者の所得増大の取り組みで確立される営農モデルを県内全域へ水平展開(30年度は準備期間)	・持続可能な農業生産および安定した農業経営づくり(生産者の所得増大)	県下全JAにモデル経営体を設置(7経営体以上)	2JAで実施
	肥料資材課	BB肥料大規模農家対策の拡大による生産者へのメリット還元 農業大型規格の普及拡大	・BB肥料4トン以上の予約受注で11,500円/㍏以上の対策 ・大型車による10㍏以上の直送で1,000円/㍏の対策加算 ・大型規格品目:最大で17%程度の価格折込 ・担い手直送規格:約20%から30%の価格折込	目標数量:10,000㍏ 生産者メリット還元額:126百万円 対象薬剤コスト削減予定額121百万円	・実績数量:8,861㍏ ・生産者メリット還元額:112百万円 コスト削減額109百万円
農機事業部	農業機械課	農業機械維持費の低減による担い手支援 レンタル農機利用促進による担い手支援	・農機の修理・整備機1台につき4万円の経費削減(系統レバレート:5,000円、商系レバレート:7,000円 修理機単価100,000円で試算) ・6条田植機 3ha 年間2日使用の場合:年間約313,600円お得 ・6条直播機(鉄コーティング)4ha年間2日使用の場合:年間約208,000円お得 ・じゃがいもハーベスタ 1ha 年間10日使用の場合:年間約430,000円お得 ※主要3機種1台平均で1日あたり、約100,000円お得	修理整備費2,120万円削減(基幹整備センター整備目標:530台) レンタル日数:150日 [1日10万円×150日=年間1,500万円削減]	1,852万円(整備台数516台) 140日(年間1,400万円削減)
	北東北石油事業所	岩手推進課	営農用軽トラック スタッドレスタイヤの安価販売	目標:6,000本 通常価格より2割以上のコスト低減 低減金額1,500台×3,250円=4,875,000円	6,008本



「純情産地確立『栄』プラン」は、全農岩手県本部のすべての職員が一体となり、具体的な数値目標を着実に実践していくことにより、自己改革を前進させ、結果として「農家組合員の所得増大」と「農業生産の拡大」を実現することを目指しています。

今後益々厳しい生産環境が想定されますが、全農岩手県本部は、どんな時でも農家組合員の皆様方の負託に応えつづける組織として、JAの皆様とともに、精進して参る所存でありますので、引き続き本会事業に対し特段のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに

はじめに

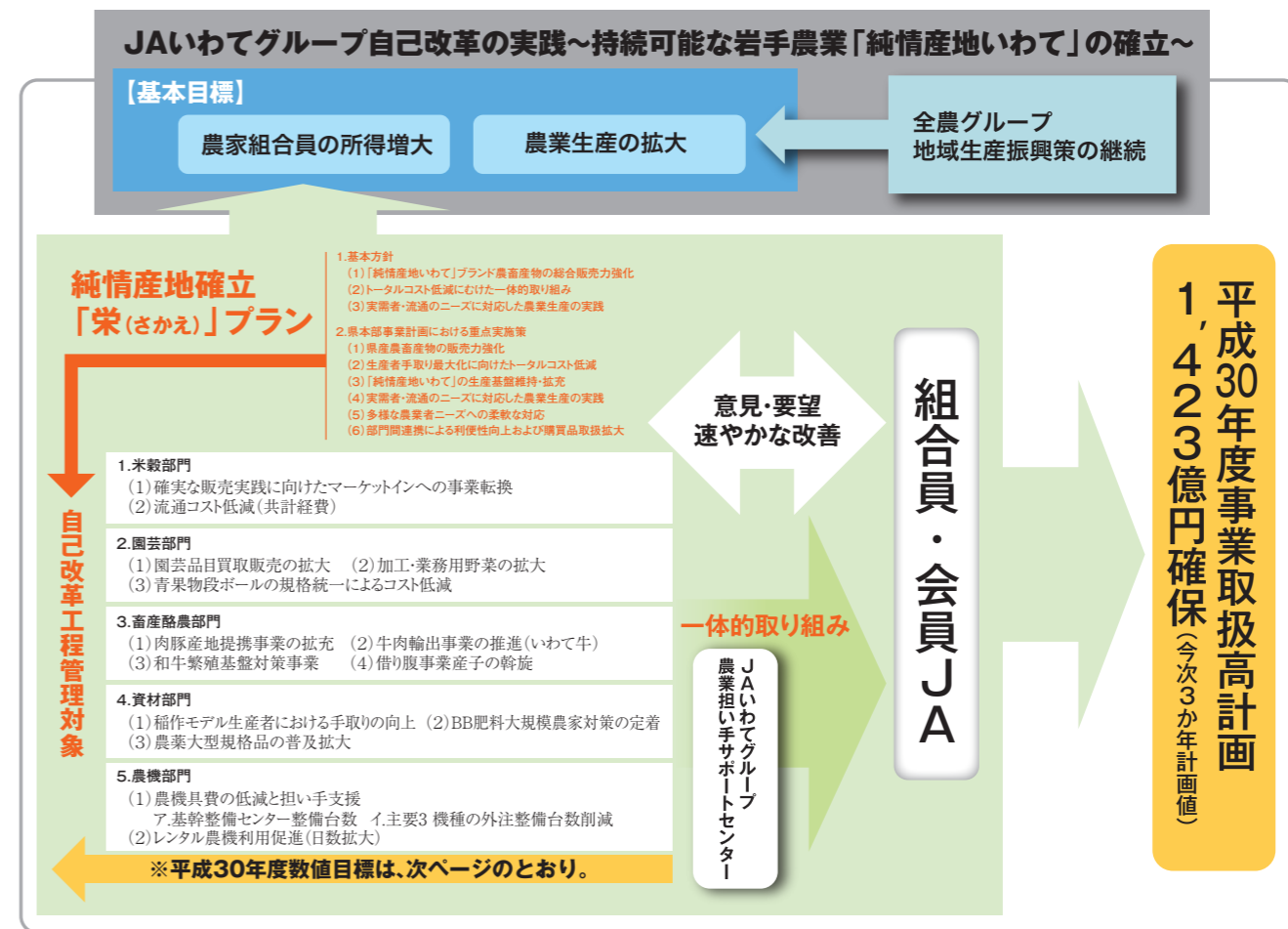
全農では、「魅力増す農業・農村に向けたJAグループの取り組みと提案」で示した具体策を加え深化・拡充するとともに、政府が示した「農林水産業・地域の活力創造プラン」で本会に求められている取り組みの具体化を図り、スピードを上げて実践することとしています。

こうした状況を受けて、岩手県本部では、第44回JA岩手県大会の決議に基づき、「農家組合員の所得増大」と「農業生産

の拡大」に向けた「純情産地確立『栄』プラン」の実践を、岩手県独自の取り組みとして位置づけ、販売・購買事業の各部門において具体的数値目標とこれに伴う組合員メリットを明示し、達成に向けた進捗管理をしていくこととしています。

「純情産地確立『栄』プラン」の最終年となる今年度の取り組み内容についてご紹介させていただきます。

1.「純情産地確立『栄』プラン」基本スキーム





純情産地いわて30周年記念企画

“純情産地いわて”を 支え・育む力を インタビュー!!



JA岩手県青年組織協議会

会長 **高橋 真悟** (39歳)

平成30年度は、「純情産地いわて」を掲げて30周年になります。記念すべき節目の年として、「純情産地いわて」に関わる方にインタビューをし、本県の農業のこれまでの歩みや今後の展望をお聞きします。今回は、JA岩手県青年組織協議会の高橋真悟会長にインタビューしました。



「アースコネクト」を起ち上げました。現在、7名が集い、水稲、大豆、そば、りんどうを生産しています。毎日ミーティングを実施し情報共有しながら、明るい雰囲気の中で業務に取り組んでいます。また、農業には、「忙しい・休めない」というイメージがありますが、法人化してからは仕事のオンとオフにメリハリをつけることができるようになりました。

良いものを作れば、信頼に繋がる
しっかりとした品質の良いものを作り、それをJAやお客さんが認めてくれれば、それ相応の評価を得ることが出来ます。そして、一番大切なことは、良いものを作ると信頼に繋がるということです。この信頼関係が消費地のニーズの把握や新たな取引等、さらなる発展に繋げることが出来ます。
また、良いものを作るためには、長年培ってきた経験と勘が必要だと考えています。現在ベテランが3名おりますが、農産物の品質維持にはその方たちの経験が反映されています。誰もが行っている通常の作業の中でも、その経験と勘が秀でていれば、評価を得ることができると感じています。



時代に沿った農業を
岩手県だけにとどまらず、全国的に現在の農業は、担い手不足や一人あたりが抱える面積の増大に悩まされています。そのような状況の中、これからの農業は、最新機械はもちろん、ICTを活用しなければならぬと考えています。いかに効率的に農地を

管理するか、少ない人材で業務をこなすかという課題に向き合う必要があります。
また、農業情勢が大きく変化する中、農政の方向性を見極め、時代についていかなければ時代錯誤の農業になってしまいます。時代に沿った、ニーズに合った農業をしていきたいです。
農家の心より「どうやってほしい」
JA全農いわてには、農家の心のよりどころであってほしいと思います。農家が困ったとき、安心して農産物を買ることが出来る環境を作ってほしい。「どこよりも安く資材を仕入れてほしい」「どこよりも高く農畜産物を販売してほしい」ではなく、生産者の支えとなってほしいです。また、お互いに任せつきりではなく、意見交換を活発に行い、共に生産基盤を築いていくべきだと考えます。

消費者とつながる環境を

ニーズ等で、消費者が農産物の販売価格に意見を述べる場面をよく見かけます。需要と供給のバランスで価格決定する中、過剰に販売価格の動向に目が向けられている現状にあると感じています。また一方で、我々生産者も、消費者の意見に目を向けずに、生産することのみに没頭してきてしまったのではないのでしょうか。生産者と消費者のこの距離感を縮めたいと考えています。そのためには、消費者とつながる環境を作っていく必要があります。消費者と生産者が情報交換・相互理解のできる機会を増やしたいです。
また、私たち生産者は、安全安心な農畜産物を作っていますということを消費者に伝えたいです。

純情ブランド消費地の「今」をレポートします。

消費地販売部 発

消費地だより

岩手県知事とJAいわてグループとの「いわて純情野菜トップセールス」の開催

東京では、連日30℃を超える真夏日が続いており、岩手も暑い日が続いているとのことなので、体調管理には十分注意いただき、よろしくお願いします。



7月21日(土)東京・大田市場内にて、岩手県知事とJAいわてグループとの「いわて純情野菜トップセールス」が盛大に開催されました。東京青果のマンモスセリ台前挨拶では、県副知事をはじめ、JA岩手県五連の久保会長、県内7JAの組合長、大型野菜経営者協議会の高村会長、本会畠山本部長ほか、文字どおり県内各団体のトップが参加し、「いわて純情野菜」のPRがおこなわれました。



展示コーナーではキャベツ・レタス・ほうれんそう・きゅうり・ピーマン・トマト・なす・生しいたけなど、各JAを代表

する幅広い品目が表示されました。

また試食会では「いわて純情むすめ」が中心となり、キャベツ・レタス・きゅうり・ミニトマトなど600食を大田市場の買参人のみなさまへ提供しました。お客さまの反応も非常に好評で、「いわて純情野菜」の新鮮さ、おいしさをPRすることができました。

連日各産地のトップセールスがおこなわれていた大田市場ですが、他産地に負けない大規模なPRイベントとなり、多くのお客様に改めて「いわて純情野菜」を知っていただく機会になりました。

現在、本県の野菜は最盛期を迎えています。消費地では「いわて純情野菜」を待っているファンが大勢おりますので、生産者の皆様、たくさんのお荷をお願いいたします。



消費地販売課 菅原 大展

新メニューが登場!

みのもる info

みのもるダイニング
MINORU DINING

純情産地いわての店「みのもるダイニング」に、新メニューが登場しました。9月中旬までの期間限定メニューとなります。オススメは、「南部鉄 ビーフコンビーネーショングリル」シリーズ。たっぷりのフレッシュマトソースでいただく「夏野菜グリルハンバーグ」と純情牛サーロインステーキのコンビネーショングリル(税抜2,980円)、お肉がジューシー「純純ハンバーグ」と県産牛ステーキのコンビネーショングリル(税抜1,980円)がイチオシ!こはんと味噌汁、香の物が付き、ボリュームたっぷりな県産牛をお楽しみいただけます。

ビールをゴクゴクと飲みたいこの季節。ビールのお供として、「岩手県産グリル3種盛り(県産牛ステーキ・純情豚おろし添え・菜彩鶏レモンソース(税抜2,480円)」や、「東北産豚のスムーク4種と焼き枝豆(税抜1,000円)もぜひお楽しみください。

本格的な夏を迎えた今!純情産地いわての店「みのもるダイニング」で、旬の素材をふんだんに使用したこだわりの新メニューをぜひご賞味ください。



「夏野菜グリルハンバーグと純情牛サーロインステーキのコンビネーショングリル(税抜2,980円)」

りんご果面障害(サビ)の原因と対策



園芸部 生産販売課
技術主管
佐々木 仁

1. はじめに

りんごは果実の表面にサビと呼ばれる障害が発生することがあり(図1)、品種によって差があります。最近の品種では「はるか」や「紅いわて」でサビの生じやすいことが知られています。サビは発生しても食味など内部品質に影響ありませんが、外観を著しく損ねるため商品価値が落ちてしまいます。このため、高品質果実の生産にはサビの発生防止、軽減策が欠かせません。

2. サビの発生原因

サビ果発生の要因は、主として果実がまだ小さい幼果期につくられます。特に、落花20日後頃は「毛振り期(けぶりいき)」と呼ばれ、果実の表面を保護している「毛(もうじ)」が脱落してくるため、果面が最もデリケートな時期と考えられます(図2)。

ここにさまざまな外的ストレスが加わると表皮のクチクラ層に微細なひびが生じ、果面のサビになつていきます(図3)。



■図1 果面に生じた激しいサビ(ふじ)

3. 対策

サビの原因で最大のものは「毛振り期」の農薬散布(特に殺虫剤)であるため、この時期の殺虫剤は極力避けられます。また、果面の濡れ時間が長いほどサビの発生を助長することから、散布時の天候や時間帯に注意するとともに、薬液の乾燥を促す果面保護剤を混用することも効果があります。さらに、りんご樹の植栽方法や枝の配置を工夫して風通し



5月27日
(落花15日後)

5月25日
(落花13日後)



6月10日
(落花29日後)

6月2日
(落花21日後)

■図2 果実の発育ステージと「毛」の状況(はるか)

を良くすることで乾きやすくすることも効果的です。一方、サビの発生には紫外線や花弁の脱落不良(図4)、凍霜害、病害虫など他にも多くの原因があります。大半は対策が困難なものであり、現場では摘果の見直しなどに対応しているのが現状です。

なお、りんごは有袋栽培でサビ防止効果を高められることから、高級ブランド「冬恋」の生産現場では袋かけが実施されています(毛振り期前の落果15日頃までに袋をかける最も効果が高い)(図5)。



■図5 袋をかけた幼果(はるか)



■図4 花弁が残ったままの幼果(紅いわて)

笑顔がはじける

純情むすめ
活動記

第12回八幡平市畜産共進会に参加して

「いただきます」。私は小さい頃からご飯を食べる前にこの言葉を欠かさず言うようにしています。ご飯を作ってくれた母やその食材を育ててくれた方、そしてその食材に感謝の気持ちを含めて、「ありがとう」と同じくらい大切に大好きな言葉です。今回の活動はその言葉の大切さを改めて私に教えてくれました。

7月6日、私はいわて純情むすめの初業務として第12回八幡平市畜産共進会に参加してきました。その日は「デイリークイーン」として呼んでいただいたのですが、「デイリークイーンってなんだろう?」とお恥ずかしい話、私は会場であげていただくまで「デイリークイーン」を牛の品種か何かと勘違いしていました。さく、話を戻しまして、会場に着いて目に飛び込んだのは牛、牛、牛。



ホルスタイン種35頭、黒毛和種106頭が会場には集まっていました。今まで農場に遊びに行ってもここまで多くの牛は見たことがなかったのでその迫力に大興奮してしまいました。いや、興奮ばかりしてはいられない。審査が始まり、来場者参加の投票審査や賞状授与のお手伝いのため会場を歩き回りました(フンを必死に上げながら)。その中で牛を育てた方の真剣な眼差しで審査を待つ姿、愛おしそうに牛をなでる姿、牛たちのつやつやな毛並みや大きくて立派な姿を目にして様々な思いがこみ上げてきました。大切に育ててきたんだなあ、一生懸命大きく育てたんだなあ。私たちはその命をいただいた、いるんだなあ。いつも食卓で食べているお肉や牛乳は育てた方の愛情や牛たちの命をもっているのだと改めて気づかされました。賞を贈った時「ありがとう(ございます)」と言われましたが、「うち(こ)そ(が)ありがとう(ございます)」その心の中で返すにはいられません。その日の帰りにいただいた八幡平牛のお肉はすき焼きにしてみました。柔らかく脂がジュシーでとっても美味しかったです。もちろん食べる前には手を合わせ、感謝の気持ちを込めて言いました。

「いただきますね!」



2018いわて純情むすめ
東山 佳永

JA全農いわての純情人



管理部
総合企画課
いどかわ あやみ
井戸川 文美さん

趣味・特技

寝ること、食べること、音楽を聴くこと、絵を描くこと、買い物をする

現在の担当業務

イベントや会議の取材、記事作成

これからどんな職員になってみたいか

記事も自分自身も、魅力ある職員になりたいです。「JA全農いわて」に興味を持っていただけるような広報活動を目指していきます。

その他アピールしたいこと

美味しいものを沢山食べて、元気いっぱいに取り組みます。よろしくお願いします!

お見事!チームJRAへ県産農畜産物プレゼント

7月16日(月)

「ジャパンジョッキーズカップ2018」

7月16日(月)に、盛岡競馬場OROパークにて、「ジャパンジョッキーズカップ2018」が開催されました。JA全農いわてはこの大会に特別協賛しており、優勝チームと優勝騎手、優勝馬関係者へ副賞として岩手県産農畜産物を贈呈しました。JRAチーム4名、東日本地方競馬チーム4名、西日本地方競馬チーム4名の3チームで競った結果、チームJRAが見事勝利をおさめ、優勝騎手にはJRAチームの内田博幸騎手が選ばれました。内田騎手へ贈呈した「いわて純情豚一頭分」については、後日、盛岡競馬場で競馬ファンにお振舞いされる予定です。また、来場者先着400名に、りんごジュース、JA全農いわてオリジナル塩飴をプレゼントしました。JA全農いわてでは、県産農畜産物の提供を通じ、地域の賑わい創りと活性化に今後も貢献していきます。



来場者先着400名様に2018いわて純情むすめからプレゼント



優勝したチームJRAには「いわて牛ステーキ」「金色の風・銀河のしずく」「いわて純情りんご」を贈呈

“オールいわて”夏野菜カレーをPR

7月17日(火)

「純情産地いわてのピーマンのカレー」岩手県知事表敬訪問

JA全農いわては、7月17日(火)に、ハウス食品㈱とともに、岩手県庁の達増拓也知事を訪れ、「いわて純情野菜」を使ったカレーメニューをPRしました。

このキャンペーンは2010年から開始され、今年で8年目。毎年「いわて純情野菜」を使用したカレーレシピを発表してきました。今年のレシピは、「純情産地いわてのピーマンのカレー」。ピーマン(JA岩手ふるさと)、ミニトマト(JAいわて花巻)、ナス(JAいわて平泉)、たまねぎ(県内産)を使用しました。また、いわて純情豚と県オリジナル水稲品種「銀河のしずく」も使用し、“オールいわて”を味わうことができるカレーとなりました。

試食した達増知事は「ピーマンなどの夏野菜と、いわて純情豚、銀河のしずくがマッチして美味しい。彩りが鮮やかで栄養バランスもよく考えられている。」と絶賛しました。

発表されたレシピは、県内のテレビCMやスーパーなどで紹介されます。気温の高い日が続く中、暑い夏を乗り越えていくためにも、「いわて純情野菜」をふんだんに使用した「純情産地いわてのピーマンのカレー」をぜひご賞味ください。



表敬訪問の様子



本格的な夏がやってきました。建物から出たときのムツとした空気はあまり好きではないですが、カンカンに晴れた雲一つない青空が素敵な季節です。

今年度は「純情産地いわて30周年」という節目の年。記念イベントとして、8月11日(土・祝)

に盛岡駅前滝の広場で、「純情産地いわて感謝祭」を開催します。いわて牛&いわて純情豚のお振る舞いやいわて純情野菜の販売、純情産地の加工品販売など、様々なイベントを実施いたします。ぜひいらしてください!!

(佐藤)

食の大切さを子供たちに

6月(食育月間)

平成30年度岩手県食育普及啓発キャラバン

6月の「食育月間」に合わせ、JA全農いわては岩手県や歯科衛生士、栄養管理士と共同で県内の保育所を訪問し、子どもたちに食についての大切さを伝えました。

6月15日(金)には出発式が岩手県庁で行われ、参加した盛岡幼稚園児による標語の読み上げや踊りが披露されました。

キャラバン隊は6月15日、19日、25日、26日、28日に、県内5か所の保育園で歯磨き指導や絵本の読み聞かせを行いました。JA全農いわてからは、「いわて純情むすめ」と「じゅんきくん」が参加し、野菜に関する紙芝居の読み聞かせと「じゅんきくんストラップ」を園児たちにプレゼントしました。プレゼントを受け取った園児たちは、「いわて純情むすめ」や「じゅんきくん」と笑顔でハイタッチや握手を交わし、にぎやかな食育普及活動となりました。

JA全農いわては、こうした取り組みを通じ、子供たちへの食育普及活動に貢献いたします。



紙芝居の読み聞かせ

農機フェア46社集結!

6月23日(土)、6月24日(日)

平成30年度 JA農業機械大展示会

JA全農いわては、6月23日(土)~24日(日)にJA江刺本店の特設会場で「JA農業機械大展示会」を開催しました。この展示会は、JAグループが総力を結集して年に一度開催される農機の展示会です。JAグループ取扱いメーカー46社が最新農機を展示し、各種相談コーナーを設けました。農機とセットで使用する肥料農薬の展示や、農業用ドローンの紹介を行うなど、JAグループならではの総合力を活かした展示会となりました。

開会式セレモニーでは、JA江刺の小川節男代表理事組合長が、「JAグループの『自己改革』の中でも農家組合員の所得増大、生産基盤の拡大は第一です。そのためには、農業機械を効率的に活用した低コスト機械化営農を実現しなくてはなりません。」と述べ、自己改革における農業機械の重要性を訴えました。

また、本会の藤村明智副本部長は、「JAグループが進めている『自己改革』の内容は生産者まで十分に知れ渡っていません。今回の農機展示会を通し、JAグループが進めている『自己改革』について、生産者に体感してほしいです。」と述べました。

来場者は2日間で1891名。目標を超えるお客様のご来場で大きなにぎわいを見せました。



最新機械の展示が行われました

更なる発展に向けて

7月5日(木)

冬恋はるか 躍進大会

JA全農いわて園芸部は、7月5日(木)に、岩手冬恋研究会と共に本県オリジナル品種である「冬恋はるか」りんごの販売金額1億円達成を祝し、躍進大会を開催しました。研究会役員や会員、青果会社など60名が出席し、更なる産地化・ブランドの確立・販売金額2億円の早期達成に向けて意識共有を図りました。

「冬恋はるか」とは、岩手大学で誕生したりんご「はるか」を一定基準(糖度・蜜入り)で選別した「JA全農いわてオリジナルブランド」。高糖度と豊富な蜜入りであることが特徴的です。平成26年産で販売金額が5000万円を突破し、平成29年産で長年の悲願であった1億円を達成しました。

岩手冬恋研究会の北田正昭会長は、「会員同士が切磋琢磨し、努力したおかげで販売金額1億円を達成することができました。産地一丸となって、販売金額2億円達成に向けて取り組みましょう。」と更なる発展を掲げました。

- 今後は以下の4つの項目を重点的に取り組んでいきます。
- ・「冬恋はるか」の安定生産
 - ・積極的な販路拡大
 - ・輸出・越年販売への挑戦
 - ・各関係機関と連携したPR



さらなる発展に向けて関係者が結集しました

JAの産直でJAカードをご利用いただくと

いつでも

5%OFF

JAカードでおトク!

▲農産物直売所



① JA新いわて直売所 花牛米菜(かうべな)
所在地: 栗石町高前田 152-3



③ 母ちゃんハウスだあすこ
所在地: 花巻市野田 335-2



⑤ 産地直売所あぜみち
所在地: 北上市流通センター 601-8



⑦ 産直 菜匂館
所在地: 奥州市前沢駅東 2-8-7



⑧ 産直 来夢(らいむ)くん
所在地: 奥州市水沢真城字杉ノ下 51



② ふれあい産直ショップ花野果(はなやか)
所在地: 久慈市中央 1-56



④ サン・フレッシュ都南
所在地: 盛岡市下飯岡 21-80



⑥ 母ちゃんハウスだあすこ沿岸店
所在地: 上閉伊郡大槌町大槌 16-28



⑨ 江刺ふるさと市場
所在地: 奥州市江刺愛宕字金谷 83-2

- 対象のJA直売所のご利用分をJAカードでお支払いいただくと、JAカードご利用代金ご請求時に割引した額で請求いたします。
- 一部、対象とならない商品・サービスがあります。
- 予告なく割引率の変更・本特典を終了する場合があります。
- 本特典は三菱UFJニコスが発行するNICO SブランドのJAカードが対象です。JCBブランドのJAカード、JAビジネスカード、JAコーポレートカードは本特典の対象となりません。

いつもあなたのそばに

JAバンク岩手

JAバンク岩手 検索



私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

